

## 進捗状況の概要（1ページ以内）

**1. 事業計画実施体制**

本事業全体を統括・運営する組織として、学長が機構長を務めるグローバル人材育成推進機構下に、教育担当理事を委員長とする「融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ社会変革先導人材育成プログラム運営委員会」と、事業の企画・実務を担う組織として教学マネジメントセンター長を兼務する学長補佐を委員長とする「同プログラム企画実行委員会」を設置し、全学体制で運営する体制とした。本事業は、全学を挙げた知識集約型社会を支える「社会変革先導人材の育成」に向けた取組みであり、その体系的な学際教育プログラムの構築と全学的展開の促進に向け、大学全体、学位プログラム、個々の授業科目における全てのレベルの教学マネジメントを一括管理し、本学の教学の司令塔となる「教学マネジメントセンター」を教育担当理事の下に新設した。

**2. 達成目標と事業計画の内容**

本事業の要として「融合学域先導学類」「先導 STEAM 人材育成プログラム」の新設、さらには、「学士課程のリベラルアーツ科目である共通教育 GS 科目と学域 GS 専門科目」の拡充に伴う学修目標設定及び授業科目・教育課程の編成・実施に着手した。

具体的には、令和2年度は、文理融合型教育を先導する融合学域先導学類の新規学生募集を開始した年度であるとともに、文理融合型教育の全学展開を目指す共通教育 GS 科目第6群、学域 GS 専門科目及び先導 STEAM 人材育成プログラム構築の諸準備の年度であった。このため、令和3年度の文理融合型教育実施に向けたブレンド型授業デジタルコンテンツ・教材作成の取組等が中心であり、デジタルコンテンツ作成用スタジオや必要機材の整備を行った。なお、融合学域先導学類の学生募集では、通常の高校訪問に加え、オンラインによるキャンパスビジット（オープンキャンパス）や海外高校生を対象とした広報活動を実施することで、幅広く広報を行うことができ、入学定員55名を満了する学生確保を果たすことができた。

また、「融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ社会変革先導人材育成プログラム運営委員会」及び「同プログラム企画実行委員会」の規則を整備したほか、外部評価委員会、アドバイザリーボードの設置による内部評価と外部評価が連動した事業推進体制の枠組を整備した。

さらに、採択時の留意事項に対応するため、「先導 STEAM 人材育成プログラム」のカリキュラム設計と履修の仕組みづくりの整理を進めたほか、教学マネジメントセンター設置準備室による教学マネジメント体制の検討・構築とアカデミック・アドバイジングの仕組みづくりの整理を進めた。また、本事業計画の進捗把握・課題分析等を踏まえた事業推進及び学内外向け成果発信のための環境を整備し、本学の事業取組に関する専用 Web サイトおよび幹事校事務局として採択6機関の事業取組紹介のための Web サイトを構築して学内外に向けた情報発信を開始した。

**3. 本事業プログラムを通じて構築される全学的なマネジメント改革への対応状況**

教育担当理事の下に教学の司令塔としての「教学マネジメントセンター」を設置し、全学の FD 委員会及び教務委員会の委員長を務める学長補佐を教学マネジメントセンター長とすることで、FD 研修や学修支援等との連携による教学マネジメントの強化・推進ができる体制を確立した。ICT 技術の活用により「学修者本位の教育の実現」「学びの質の向上」にむけ、既存の国際基幹教育院高等教育開発・支援部門及び総合メディア基盤センターを発展的に解消し、教学マネジメントセンター及び学術メディア創成センターを新たに設置した。ポストコロナ時代の新たな教育手法の実現・開発を目指し、デジタルコンテンツ・VR 教材の活用等、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に向けた全学的なマネジメント改革が進展した。